

2026（令和8）年度 青山中学校マニフェスト

校長 林 秀樹

《学校教育目標》

確かな学力と豊かな心を持ち、自らを鍛え、
仲間とともに高まろうとする生徒の育成

《めざす生徒像》

- 自分を見つめ、「なりたい自分」になるために主体的に学ぶ生徒
- 自尊心を高め、一人ひとりがお互いの良さを認め、つながり合う生徒
- 自分の将来の生き方を描き、その実現に向けて行動する生徒



I 学力の向上 — わかる授業の創造をめざした授業改善と生徒の「主体的な学び」を	
<ul style="list-style-type: none">○生徒の学習意欲を高めるため、教職員間で授業研究・研究協議や教科部会を充実させ、授業力の向上を図る。○タブレット端末を効果的に活用し、学習時間の効率的な運用に取り組む。○各教科の課題や自主学习ノート（まなびい）などを利用して、家庭学習の習慣をつける。○読書環境を整え、朝の読書の時間などを活用して読書活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 授業が分かりやすい 85%<input type="checkbox"/> 家庭学習に取り組んでいる 80%
II 人権教育の充実 — 人権学習や活動を通して、生徒の「人権尊重の精神と豊かな心」を	
<ul style="list-style-type: none">○「青中人権の集い」を年3回実施し、人権意識を高め、自分の考えや思いを安心して出し合える人権学習を進める。○学級活動や生徒会活動、部活動などを通して、さまざまな場面で自分の役割を精一杯果たすことのできる場を設定する。○地域と連携し、保幼小中学校と系統的な人権学習を推進する。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 学校が楽しく充実している 90%<input type="checkbox"/> 行事に積極的に参加している 90%
III キャリア教育の推進 — 人との出会いや体験活動などを通して、生徒の「生きる力」を	
<ul style="list-style-type: none">○人との出会いや体験活動などを通して、自己を見つめ、生き方や将来について考える場を大切にする。○あいさつや言葉遣い、服装など、望ましい基本的生活習慣を定着させる。○学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりできるよう「キャリアパスポート」を活用する。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 夢や目標を持っている 90%<input type="checkbox"/> マナーが身につけてきている 90%
IV 開かれた学校づくり — 信頼される学校をめざして	
<ul style="list-style-type: none">○授業参観や自由参観、体育祭、文化祭などへの参加を呼びかけ、教育活動を共有する。○学校だより・学年通信・ホームページなどで情報を発信する。○保護者との対話や連携を大切にし、子どもの理解に努め適切な指導を行う。○学校運営協議会や学校関係者評価・アンケートを取り入れて学校改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 学校の様子が分かる 90%<input type="checkbox"/> 子どもの理解に努めている 90%
V 働きやすい職場環境づくり	
<ul style="list-style-type: none">○「伊賀市学校職員の総勤務時間縮減のための業務改善ポリシー」を遵守し、教職員がやりがい・元気をもって、子どもたちと向き合えるよう、働き方改革に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 定時退校（水曜日）<input type="checkbox"/> 総勤務時間縮減